

1 審議会要旨

(1) 開催日時 令和8年(2026年)8月13日(木)

午後3時00分から午後4時30分まで

(2) 開催場所 宝塚市役所 政策会議室

(3) 出席委員等

本日の出席委員は、8人中7人で、次のとおり。

ア 委員(会議室参集)

大平委員、澤委員、高木委員、高橋委員、田中委員、山根委員、前田委員

イ 事業者、設計者

(ア) 議事1 事業者 株式会社CASAプロダクト

設計者 関西不動産販売株式会社一級建築士事務所

(イ) 議事2 事業者 宝塚市立病院

宝塚市景観審議会デザイン協議部会の設置及び運営に関する規程第5条及び、宝塚市景観審議会規則第6条第2項の規定により、定足数である委員の2分の1以上の出席があったので、会議は成立した。

宝塚市景観審議会の運営に関する規程第3条第1項の規定に基づき、本日の議事に係る会議は公開であることを確認した。

(4) 会議の内容

ア 会長は、議事録署名委員として、5番高木委員及び6番高橋委員を指名した。

イ 次の議事について審議を行った。

議事1 宝塚市武庫山1-14-I

議事2 宝塚市立病院新病院整備計画

2 会議要旨

(1) 議事1 宝塚市武庫山1-14-I

会長

景観に配慮した点について、簡単にご説明をお願いします。

設計者

まず今回の造成計画に関する概要を含めて、簡単に説明いたします。

元々一区画の住宅敷地として利用されていた土地の約半分を利用し、今回、宅地造成という形で計画をしております。土地利用計画に関しては一戸建て住宅6軒分を予定しており、一部道路後退部分が発生いたします。ゴミ置き場等を含め、約1200㎡の開発計画です。

造成計画において配慮した点は、周辺環境と調和した永住型の良好な住環境を創造することです。道路部分に関しては一部擁壁が築造され、地下ガレージが面する構造となります。擁壁に関しては、計画高さをなるべく抑えけるとともに、道路境界線から50cm後退し、擁壁の前面に植栽帯を設ける計画として

進めています。

現在は宅地造成の段階であり、建物の具体的な形態はまだ決まっておりませんが、建築の際には景観形成基準を遵守して進めてまいります。植栽についても、今後の建物計画に合わせて実施する予定です。

会 長 ありがとうございます。それでは委員より質疑、意見をお願いします。

委 員 色々と景観上の配慮をいただいていると思いますが、図面を見ると、コンクリートの擁壁の印象が非常に強いです。今回の計画地は、現状はおそらく御影石の石積擁壁での造成地で、これは宝塚らしい景観を構成している大きな要素の一つです。この既存の石積擁壁の石を、なんとかうまく新しい擁壁の仕上げなどに活かしていくことはできないでしょうか。

設計者 擁壁については、安全性の確保を考えると、既存の石積擁壁を活かすことはできないと判断しています。

委 員 構造的にコンクリート擁壁となることは理解していますが、例えば仕上げの部分などで、既存の石積擁壁の景観を再現するようなデザインや工夫を検討いただけないでしょうか。そうすることで、周囲と調和した宝塚らしい景観が維持され、より良い造成につながるのではないかと考えています。

設計者 擁壁の仕上げについては、周辺にも、打ち放し仕上げの擁壁もありますし、今後他の宅地もこのような仕上げに移行していくのではないのでしょうか。また、費用面でも非常に難しいため、打ち放し仕上げにさせていただきたいと考えています。

委 員 費用の課題はもちろんあると思いますが、背後の山並みを含め、自然景観が連続する中で、既存の景観をできるだけ維持していただきたいと思っています。部分的にでも、何か取り入れられることがないか、是非ご検討ください。

委 員 宅地が周囲より下がる部分の擁壁は、間知石ブロック積擁壁ですか。

設計者 そうです。間知石ブロック積擁壁については、資料を添付しています。よく見かける、単一な割り付け仕上げの間知石ではなく、少し不規則な自然石調の間知石ブロック積擁壁を採用する予定です。

委 員	色調は、コンクリートのような色彩でしょうか。周辺の石積の色彩に合わせるといったことは可能ですか。今回は、石積擁壁がなくなり、コンクリート擁壁の面も長大ですので、景観の変化が大きすぎることを懸念しています。少しでも既存の雰囲気を継承していただければと思うので、ご検討ください。
設計者	色彩については、いただいた意見を参考に検討します。
委 員	今の意見と関連して、1点教えてください。間知石ブロック積擁壁は、傾斜がありますか。
設計者	傾斜はあります。一般的な仕様です。
委 員	擁壁が垂直に立ち上がってくると、壁状になり、圧迫感があるので、傾斜があるのは良いです。また、間知石ブロック積擁壁の色彩について、宝塚らしさを感じる石積擁壁の色は赤みのある色ですので、そのような色味を探していただけると良いと思います。 それから、計画全体についてです。資料の中に、今回の計画は「周辺環境と調和した～」というような記載がありますが、これはどのような考え方なのか教えてください。
設計者	計画として第一に考えているのは、安全性ではあります。景観については、先ほどいただいた意見を参考に、仕上げ等に関して再度検討させていただければと思います。
委 員	よろしくお願いします。また、既存の石積擁壁の中に、赤御影なども含まれているのではないのでしょうか。例えば、それを階段部分の意匠に使ってもいいかもしれません。階段もコンクリート打ち放しになってしまうと、味気ない雰囲気になってしまうと思いますが、そういった工夫で印象も大きく変わると思いますので、是非ご検討ください。
委 員	間知石ブロック積擁壁については、明るい赤御影スタイルの製品があるようです。また、表面がもう少し多孔質な製品などであれば、少し苔などが入り、良い風合いになりそうです。 道路際の打ち放しの擁壁についてです。今回の計画では、この擁壁の前面に50cmの植栽帯を設けて、擁壁の圧迫感を緩和するねらいかと思います。しかし、50cmの植栽帯で生垣のような中木をきれいに仕立てて管理するとい

うのは、専門の業者によるメンテナンスが想定しづらい一般的な戸建て住宅では、少し難しいと思います。また、この敷地内で一番重要なアイストップとなる場所は、ゴミ置き場の箇所だと思いますので、ここに中木を植栽することや、道路と同じレベルでの広場をつくっていただくことが、景観上望ましいです。宅盤がちょっと鋭角に出てきている部分がありますので、この部分を道路レベルでの造成にして、中木、低木を配置すると、アイストップの景観が非常に豊かなものになります。

設計者 宅盤となる部分の面積を減らして、植栽帯の範囲を拡大するということがどうか。

委員 擁壁を道路からもう少し後退させるということなので、そういうことになると思います。現在の計画では、通り景観として見たときに、擁壁からゴミ置き場が突出するように見えて、景観上あまり良くありません。また、この部分は道路の交差部分で、最も目に留まる場所ですので、ここを緑化すると、先ほどから意見がでていた擁壁の圧迫感についても緩和できるのではないかと思います。

設計者 ゴミ置き場付近は、落ち葉の問題などありますので、そもそも低木程度が良いと考えていました。例えば、マサキやレッドロビンといった生垣風のものであれば50cmの植栽帯でも植栽できるのではないかと思います、いかがでしょうか。

委員 維持管理に懸念はありますが、植栽を生垣状で適切に管理できるということであれば、それも良いかもしれません。1m程度の高さのレッドロビンなどを、生垣状に列植するようなイメージです。

意見の趣旨としては、必ず擁壁を後退させるべきだということではなく、植栽を効果的に配置して欲しいということです。例えば、擁壁の上についても、できれば中木程度のものを植えていただきたいですし、色々と工夫していただいて、良い計画になるようご検討いただきたいと思います。

設計者 再度検討させていただきます。ありがとうございます。

委員 今回、開発行為に対する協議を行っていますが、実際の景観は、建物が建って、それらを含めて形成されます。現時点では、注文住宅になるか建売住宅になるかは未定とのことですが、建物の設計の際には、この地域の景観の規制や

今回の協議内容などを十分お伝えいただいて、最終的に良い景観になるようにご協力いただければと思います。

会 長 そうですね。色々な意見がでているので、ぜひお話をつなげていただければと思います。

委 員 建物計画時の緑化についてです。今回は、いくつか旗竿敷地があり、その場合には緑被率の基準が適用されるかと思います。一般的には、旗竿敷地の緑化は公共空間から視認されづらいですが、今回はそれぞれの敷地が階段状になっているので、旗竿敷地の緑化も効果的に配置すれば南側道路などから視認されて景観として効いてくるのではないのでしょうか。このあたりは、基準だけ見ていてもうまくいきませんが、配慮いただければ、印象が変わってくると思います。そのあたりも含めて今後検討いただくと、より良い景観につながると思いますので、是非よろしくをお願いします。

会 長 ありがとうございます。今回も、色々な意見がでました。計画地は傾斜地で、厳しい条件もあるかと思いますが、住まれる方や周辺の方にとって良い通り景観にしていただけたらと思いますので、よろしくお願いします。
それでは、以上をもちまして議題１の審議は終了します。

（２） 議事２ 宝塚市立病院新病院整備計画

会 長 景観に配慮した点について、簡単にご説明をお願いします。

事業者 本計画は、現在基本計画を策定中で、今後、基本設計、実施設計に進んでいく予定です。今回は基本設計前で図面等が揃っていませんので、具体的なお意見をいただく段階ではないと思いますが、現在考えられる景観上の配慮についてお伺いできればと思っております。なお、図面等の協議資料を整えて景観デザイン協議を行うのは、令和１０年頃を見込んでいます。

計画地は既存の市立病院の区域で、区域南側に新病院棟を計画する予定です。本日、景観上の配慮などについてご意見をいただき、設計プロポーザルの中で参考意見として提示していきたいと考えています。

本日お聞きしたい内容としては、３点あります。

１点目、建物の配置やボリューム、見え方などについてです。

今回は、区域内の既存棟も残しながら、新病院棟を区域南側の第１駐車場の位置に配置する計画です。建物が建った際のボリュームを区域に落とし込んだイメージ図を資料に添付していますので、ご確認ください。

見え方の資料として、視点場の位置の資料を作成しています。視点場として適切な位置について、ご意見いただきたいです。

2点目、旧小浜宿や病院の既存棟を考慮した景観上の考え方についてです。既存の病院棟は茶色系統の建物で、旧小浜宿は瓦屋根や白壁のイメージがあります。どこに、どのように調和させていくべきなのかについて、ご意見いただきたいです。

3点目、緑化についてです。新病院の予定地となる第1駐車場の南東側には、豊かな植栽がありますが、新病院は、規模の大きな建物になり、既存の植栽を全て残すことはできないため、沿道部分で一部の緑化を確保することなどを検討しています。このあたりについて、ご意見をいただきたいです。以上です。

会 長 ありがとうございます。建物の配置などについて、周辺を考慮した調和の考え方について、緑化について、の3点に対する検討が必要ということです。まずは、1点目の建物の配置などについて、委員より質疑、意見をお願いします。

委 員 区域内の既存棟を残すということですが、病院の部門としては、外来が既存のまま残り、今回新たに病棟が計画されるということでよいでしょうか。

事業者 病院の部門としては、外来診療棟とがんセンターが残ります。外来診療棟については、改修なども検討しています。外来診療棟とがんセンターと新病院棟で新病院エリアとなります。また、新病院棟の西側に、現在は健康センターがありますが、こちらを解体して、新病院の駐車場として活用していくことを考えています。

委 員 新病院棟は、外来があり、その上に入院患者用の検査や診療部門を含む病棟部が配置されるといったイメージでしょうか。

事業者 そのとおりです。低層部の4階までが外来、手術、検査部門となり、5階以上の上層部が病棟という構成の予定です。

委 員 新病院棟は、既存の外来診療棟と渡り廊下などで接続し、一体的に運用していく計画でしょうか。

事業者 その方向で検討しています。

委 員 既存の病院棟の入院機能はどうなりますか。

事業者	病院機能は全て、いったん新病院エリアに集約します。新病院エリア外の既存の建物については、民間事業者などが回復期病院などとして活用できるよう、誘致を検討しています。
委員	新病院棟は、地下1階、地上8階で、高さ40m程度ということですか。
事業者	はい、そのとおりです。
委員	40mの高さの壁が垂直に立ち上がってくると、圧迫感があると思います。建物の形状としては、南東側の敷地形状が曲線になっているので、これに合わせて平面的には少し曲線になるのかなと思っています。立面的にも、壁面を垂直に立ち上げるのではなく、段階的にセットバックさせて、上層階ほど敷地境界から控えていくような形状にすることはできますか。必要な床面積を確保しつつ、建物形状の検討の余地があるのか教えてください。
事業者	低層部の4階あたりまでは一定の大きさが必要ですが、上層部の病棟部分については、低層部からセットバックできる可能性はあります。ただし、上層部の病棟部分については、病室配置を上下で変えてしまうと大きくコストが変わりますので、基本的にはそのまま立ち上げます。低層部と上層部との間で、屋上庭園などを取り入れるというような手法であれば、検討できると思います。
委員	病棟部分は、階によって平面構成が変わると、スタッフステーションなどの位置が変わり、非効率になるのは理解できます。全体的なボリュームとしては、上に行くほど低減していく方が周囲から見たときに圧迫感が少ないと思いますが、今回は、低層部と上層部でのセットバックであれば可能かもしれない、ということですね。 平面上で、敷地形状が曲線になっているところについて、建物形状も滑らかな曲線で構成することは可能でしょうか。
事業者	検討は可能です。床面積として大きな面積が必要ですので、敷地形状の曲線に沿って計画する方が良いでしょう。ただ、曲線にするとコストがかかるという側面もあるので、整形でジグザグに折れていくような形状になるかもしれません。
委員	個人的には、硬い形状にならない方が良いでしょう。建物ボリュームが大

	きいことによる圧迫感を、曲線などの柔らかな印象で少しでも緩和できるのではないのでしょうか。
委 員	病院という用途は、豊かな緑と共に在るのが相応しいと思いますが、今回は、区域内で最も緑豊かな部分の植栽が非常に少なくなってしまう計画となっています。屋上庭園というのはその点に寄与しますので、そういった意味でも是非取り入れていただけるといいのではないかと思います。 計画地の沿道緑化が非常に豊かであることが、今回資料でもよく分かります。また、この地区は元々歴史的な地区でもあり、その成り立ちの中で、豊かな緑が守られてきたということではないのでしょうか。こうした背景も配慮すると、できるだけ沿道緑化を保全することを考えていただきたいです。 また、先ほどの委員の意見にあった、敷地形状に合わせて滑らかな曲線で構成するというのは良いと思います。南側道路や武庫川からの見え方も非常に柔らかくなるのではないのでしょうか。また、上層部をセットバックしていただくと、背景の山並みとの調和が高まって良いのではないかと感じました。 次に、建物の色彩についてです。新病院棟は、既存の本館と同じようなボリュームで、連続的に並んで見えるので、全て同じ色彩にしてしまうのは避けた方が良いかと思います。例えば、低層部の4階までは既存の病院と同じような基調の色で、5階以上の上層部には若干変化をつけてもいいかもしれません。既存の建物は、全てが茶系統で、おそらくタイルで統一されており、変化がないので、この地区の歴史的な基調色をアクセントとして取り入れることで、連続性を保ちつつ変化を持たせられるのではないかと思います。例えば漆喰の白などが良いかもしれません。これは、真っ白を多用するという意味ではなく、やわらかい色味を使って、少し変化をつけるというようなことです。 次に、視点場について、歩道や歩行者の視点だけでなく、車からの視点があってもいいかもしれません。例えば、高速道路の入口付近や、中距離の道路から見える景観です。視点場からの景観の検討の際には、緑がなくなった場合の見え方や、沿道緑化と屋上緑化がある場合の見え方などを比較していただくと、必要とされる景観上の配慮が見えてくるのではないのでしょうか。
事業者	車からの視点について、中国自動車道や国道176号からの視点の資料も添付しています。中国自動車道からは、防音壁などがあってあまり見えないかと思いますが、国道176号については、資料に添付した場所以外も、もう少し確認しておきたいと思います。
委 員	中国自動車道の入り口付近からは見えませんか。正面に見えてくるようにも

	思うので、併せて再度ご確認くださいと思います。
会 長	1点目の建物配置などについては、他に意見はありませんか。では、続いて、2点目の周辺を考慮した調和の考え方について、委員より質疑、意見をお願いします。
委 員	今回計画を旧小浜宿や病院の既存棟のどれに合わせるような考え方が良いのか、ということかと思います。病院の既存棟は、旧小浜宿都市景観形成地域の指定当初からありますので、区域に指定された時点から今まで、景観をつくってきた一つの大きな要素であると言えるのではないのでしょうか。そのあたりも踏まえると、旧小浜宿を中心に考えるより、病院の既存棟に合わせた考え方にする方が、良いのではないのでしょうか。施設利用者にとっても、分かりやすいと思います。また、旧小浜宿をイメージした一部をアクセントとして使うのは良いですが、旧小浜宿の設えは新病院棟のような規模で適用されてきたものではありませんので、基本的には既存病院との調和を優先する方が良いと思います。 これは、1点目の視点場の議論にも関わりますが、宝塚市の景観形成方針では、どの地区でも背景の山並みへの視線を遮蔽しないようにすることが基本となっています。病院の機能上、低層部の壁面が長大になってしまうのはやむを得ないと認識していますが、意匠上の工夫をしていただきたいと思います。分棟することや、壁面を分節することが望ましいですが、それらが難しい場合には、アクセントカラーを使うなどの工夫もできると思いますので、ご検討ください。
事業者	ご意見のとおり、どうしても長大な壁面が出てきてしまう部分がありますが、いただいた意見を参考に、検討していきたいと思います。
委 員	現況の健康センターと新病院棟の間の通路について、これは付け替えるのですか。
事業者	通路の南側は、一部付け替えが必要になる可能性があります。新病院棟によって少し西側に押すようなかたちで、現在の通路より健康センター側に寄るようなイメージです。
委 員	新病院棟の正面玄関は、南側か西側かどちらになるのでしょうか。

事業者	南側はスペースが少ないので、西側の可能性が高いです。
委員	景観上は、中遠景としては南側が重要ですが、近景としては歩行者の目線になりますので西側も重要です。病院に来られる方と、将来的な既存利活用エリアへのアクセスにおいて、歩行者のアプローチをどう作るのか、健康センター側からどう見えるのかは大切だと思います。
事業者	西側はあまり意識してなかったなので、参考にさせていただきます。
委員	植栽についてです。病院と緑の関係については過去に分析したこともあり、色々と発言したいこともありますが、まずは、この場所の大きな景観の捉え方についてお伝えできればと思います。先ほどの委員の発言のとおり、この地域全体を考えたときに、区域南側の既存の緑のボリュームは、緑のベルトとして非常に重要です。歩行者が少ないからなくなっても良い、というようなことは決してありません。地域の特色であり、景観の骨格として、非常に重要なものです。この付近はよく知っている場所ですが、個人的にも、高速道路などから見たときに病院自体はあまり見えず、まず豊かな緑がある、というのが非常に良いと感じていました。区域南側の既存の緑のボリュームを保全するということは、非常に重要な事項として認識いただきたいです。 また、区域内の樹木についても、健康センターの辺りの桜並木や、新病院棟の南側のおそらくアラカシやクスノキなどの冬場でも緑を保てるボリュームのある常緑樹などは大切です。そういった雰囲気は、大きな景観の骨格としては継承いただきたいものです。 次に、建物のボリュームについてですが、やはり道路際に8階建ての建物が大きなボリュームで計画されるのは抵抗があります。例えば、がんセンターは低層ですので、これを建て替えれば、新病院棟が道路から控えた位置に計画することや階数を抑えることにつながるのではないのでしょうか。 病院という用途上も、この地域の歴史的背景からも、道路際に大きな建物が出てくるのであれば、10m以上の高木植栽で壁面の圧迫感を緩和していくことが必要だと思います。10m以上の高木には、少なくとも5m以上の幅の植栽帯が必要です。今回の敷地は、歩道から少し地盤が高いので、できるだけ擁壁が立ち上がらないかたちで、外構をうまく納めていただく必要もあるかと思います。その中で、手前に低木、その奥に高木を植えるような、立体的な緑にさせていただくのが良いかと思います。 1点教えていただきたいのですが、区域内の福祉施設や看護専門学校の方々との連携や人の行き来などはあるのでしょうか。

事業者 運営は違うのですが、連携や人の行き来は多少あります。今後どうなっていくかは、別途検討していくというところかと思います。

委 員 緑と病院に関係することとして、ヘルシーパーク、ヘルシーピープルというような考え方が、欧米では当たり前になっています。いわゆる急性期であっても、病室から緑が見えるだけで痛み止めが少なくなるといったことは、昔から言われています。例えば、屋上庭園で、車椅子を使いながら緑と触れ合うというということも、まさにそういった使い方になろうかと思います。

また、回復期とか健康センターに来られる方などで、体が動かせるような方は、グランドレベルの緑の中で、散策しながらリハビリにもなるといったことも大切です。散策路をどのようにつくるのか、回復期病棟の位置はここでいいのか、といった全体の計画にも関係します。

新病院棟についても、屋上緑化を通じて自然と触れ合えることや、病室から見える緑などについて考えていただき、豊かな空間をつくっていただきたいです。全体計画として、人流も含めた利用形態と緑の関わり方を、しっかりと検討いただきたいです。

健康センターの敷地が駐車場になると、駐車場も玄関口と考えられると思います。もちろん緑が必要ですし、木陰があるところで待てるような場所も必要だと思います。また、駐車されている車が直視されることは景観上良くありませんので、道路際に植栽していただきたいです。既存の駐車場は緑豊かで良いのですが、桜とツツジでは少しボリュームが少ないので、常緑の樹種も含めて計画いただけると良いかと思います。

委 員 この地域は、戦国時代にできた寺内町で、江戸時代に宿場となっていたという歴史ある地域だと認識しています。こういった歴史の痕跡としての土塁や現在ある並木などについて、しっかりと確認して、歴史的な地形や樹木などについては、最大限配慮いただきたいと考えています。歴史的な樹木は、できる限り保全し、この場所の歴史性を継承していただきたいです。地域性を大切にしながら、現代の施設であり、市民のための場所として病院がある、というようになればいいなと思います。

事業者 新病院棟の敷地は元々谷で、地盤レベルはもっと低い位置にありました。高速道路のインターを作るときに、谷を全て埋めて、現状の地盤高さになっているので、樹木は歴史的なものではなく、病院建設後の樹木だと思われます。

委 員	高速道路のインター建設の際に、土地の形状が大きく変わったということですね。
事業者	過去の状況を調べた範囲では、埋められた場所だということは確認しています。 ここで少し、建物ボリュームについて補足させてください。新病院棟の規模は地下1階、地上8階ですが、敷地の北と南で地盤高が違います。敷地の北側の方が、南側より地盤が約5m高くなっています。新病院棟は、敷地の北側が1階で、南側の国道176号と同じレベルに地下1階があるようなかたちになるかと思います。そのため、国道176号側から見ると、9階建てのボリュームに見える見込みです。また、新病院棟の駐車場は、立体駐車場にする可能性もあります。
委 員	市役所周辺の武庫川河川敷から見たボリュームイメージの資料がありますが、手前の建物から突出する部分は、何階部分になるのでしょうか。
事業者	この視点からは、4～5階以上が見えてくるかと思います。
委 員	立体駐車場も、4階建てくらいの規模になるのであれば、同じように見えてくるということでしょうか。
事業者	立体駐車場は、3層以下になると思いますので、ここからは見えてこないと思います。
委 員	そのくらいの規模であれば、屋上部分を緑化するなどの活用も考えられるかもしれませんね。
事業者	駐車場については、基本的には地下駐車場を考えていますので、もしかすると立体駐車場になる可能性がある、といったところです。1階部分は渡り廊下で繋ぐ案もあります。 市役所周辺の武庫川河川敷からの見え方については、背景の山並みとの調和も大切にしたいと思っています。例えば、建物の色彩について、茶系を基調とし、上層部を明るく、低層部を暗めにするなどの配慮をし、遠景で見たときに周囲に馴染むよう配慮したいと考えています。 中近景で見たときには、既存棟と同じ色彩にすると全体のボリューム感が増してしまうので、色彩や形状で分節することを考えています。

	遠景からの見え方や、中近景での見え方、病院内からの見え方など、多面的な視点で検討を進めていきたいと思います。
会 長	よろしくお願いします。市民委員として、何かご意見はありますか。
委 員	病院は、緑が多いほうが病気の方も心が休まると思うので、そういった環境が整っていれば良いなと思います。 また、近くに大きな道路がありますが、スピードが速い車が多く、冷たいイメージもあります。安らげるような緑豊かな景観を形成していただく、あるいは公園とまではいかなくても散歩道のようなものがあれば、病気の回復にも良い影響があるのではないかと考えています。
事業者	区域全体の全体的な方針を検討しており、健康センターや回復期病院をここに据え、医療の拠点として整備していきたいと考えています。その中で、散策を楽しめるような環境についても、提案に盛り込んでいければ、理想的だと考えています。今回いただいたご意見を踏まえ、今後さらに検討を進めてまいります。
委 員	ありがとうございます。今回の計画においては、この地区が緑で繋がっているということが非常に重要であると思います。伝統的な地区の色彩と病院のデザインに違いがあっても、緑によって結びつけることができれば、一般の建物では実現できないような空間になります。周辺道路への配慮も含め、ぜひそのあたりを考慮いただければと思います。
委 員	緑の中の公園的な空間という話がありましたが、整備計画の中にはレストランなど、一般の方が患者さんと触れ合えるような場所も想定されているかと思います。回復期から在宅復帰を目指す上では、一般の方と交流できるスペースが非常に重要であると言われています。回復期の方と一般の人が触れ合える緑のスペースも含めてご検討いただけると、より良いモデルケースになるのではないかと期待しております。
委 員	プロポーザルの時には、今回の区域一体としての医療を考えたかたちでの提案をいただけると良いのではないかと思います。是非ご検討ください。
事業者	新病院の建物については、建物のみでプロポーザルを行う場合もありますが、今後、跡地利活用の事業も引き続き行っていくことになります。そのため、

つながりのあるかたちでの計画が必要だと考えておりますので、そのあたりは配慮事項として入れていきたいと思っています。

会 長

よろしくお願いします。本日は、様々な意見が出ました。今後は、設計者とも協議を重ね、より良い景観形成につながればと思います。

それでは議題２の審議はこれまでとし、本日の景観審議会デザイン協議部会は終了いたします。